トップリーダーセミナー

「管理職のための、新たな入試・学生募集・高大接続を考えるセミナー」

■講師

福島 一政（追手門学院大学 副学長・教授、愛媛大学 客員教授、福井大学 監事）

1972年3月立命館大学経済学部卒、2001年日本福祉大学常任理事・事務局長、2003年同大学学長補佐兼務、2009年東邦学園理事、2010年愛媛大学監事、2012年同大学客員教授・福井大学監事、2013年追手門学院大学副学長、2014年追手門学院理事（～2018年3月）、2018年同大学教授兼務、2005年大学行政管理学会会長（～2007年）。私立の3大学、国立2大学で役員として勤務し、大学経営・運営・教学など全般的に担当。

■プログラム概要

大学教育、高校教育、高大接続の一体的改革が求められ、2021年度入試からは新たな「大学入学共通テスト」が実施されることになっています。このテストについては、記述式問題と英語の四技能の導入ばかりが注目されていますが、高大接続システム改革会議ではもう少し深い議論がされていたように思います。横並びの「改革」を目指すのではなく、高校生や高校教師の実態や自大学の学生の実態を知り、「学力の三要素」を育成し評価する仕組みを考えることが必要だと考えています。とりわけ「分厚い中間層」といわれる学生層を受け入れている大学はそのことが強く求められていると思います。

本プログラムでは、以上のことを踏まえて、これからの大学入試、学生募集、高大接続のあり方について、「成長」をキーワードに、追手門学院大学のアサーティブプログラム・アサーティブ入試の事例を解説しつつ、今後の方向性へのヒントを提供したいと考えています。

■主な受講対象

入試・学生募集・高大接続の全部あるいは一部の業務の責任を担っている方。
もしくは、これらの業務に強い関心を持っている方。

■本プログラムの到達目標

1. 高校生や高校教師の実態について説明できる。
2. 自大学の学生実態を把握・分析して、入試、学生募集、高大接続の改革に活かすことができる。
3. 学生や高校生の「成長」を意識した制度改革を考えることができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月30日（木）10：00～12：00

場所：香川大学幸町北キャンパス